

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	やりがいと仕事	事務局	105
学校名	酒田市立第三中学校	氏名	富樫 叶

私は、学校で行われた「WAKU WAKU WORK」という職業体験で、四つの企業を体験しました。そのうち、私が特に印象に残った企業は二つあります。

一つ目は、株式会社マルイン さんです。私は、建設業に興味があったので、とても楽しみにしていました。体験場所へ移動すると、三名の社員さんがいらっしゃいました。社員さんの後ろには、壁紙貼りやクロス貼りなどが体験できるブースが設けられていて、私の気持ちはさらにじわじわと弾みました。壁紙貼りでは、たくさんの工程があり、それに合わせた道具がどんとどんと出されました。社員である職人さんが、コツを教えてください、おき聞のない美しい壁になるように一生懸命頑張りました。多少のミスはありましたが、初めてにしてはいい出来栄でした。でも、職人さんがお手本を見せてくださると、迷いもなくスムーズに作業し完璧な仕上がりを見せてくださいました。私は、これが「職人技」というのだなと実感しました。クロス貼りでは、定規やえんぴつなどを使わず、カッターと手だけで大きさを合わせられることに驚きました。これも、長年磨かされてきた技術があってこそ作業工程なのだと感じました。

二つのお仕事を体験して、職人さんたちの積み重ねる努力と仲間同士で高め合える環境があったからこそ、あたたかい雰囲気があるのだなと思いました。

二つ目は、酒田警察署 さんです。私は、あきらかして「警察官になりたい」と思っていたので、今回の体験は一生の思い出となりました。

まず初めに、指紋採取をしました。あきらかに自分の指を押しつけてミスドリの羽でできたふわふわしたブラシで、アルミなどの粉末を薄く振りかけ浮かせてのをテープに貼り付ける、という簡単そうに見える実はむずかしい体験でした。友達は、器用にできていましたが、私は自分の指紋がよく見えなくて苦戦してしまいました。次に、バイクを見学・乗車しました。後ろのシートには、交通規制を行う際に必要な道具や、

もし相手が凶器を持っていたときの対処の棒などが入っていました。パトカーのサイレンを鳴らしたり無線のようなもので実際にしゃべってみたりと、本当に警察官になったみたいでとても楽しかったです。最後に、チャイバ体験をしました。やわらかい形状でも、相手をたたくとなるとちゅうちょしてしまいました。でも、警察官になりたいにはこのようなことも必要なのだなと実感しました。

また、警察官の方の「東京や神奈川の警察学校は厳しく、すぐに辞めさせられませんが、山形の警察学校は優しく甘いんです。一人でも多く入ってほしいから。」という言葉が印象に残っています。厳しくこわいイメージしかなかった警察学校が、警察官本人から「優しい」という言葉がでてくると思ってしまいました。このお話を聞いたことにより、さらに警察官になりたいと思うようになりました。

私のやりたい職業は、正確には決まていません。ですが、この職場体験を通して興味のある仕事についてさらに深く学び、知ることができました。これから将来のことについて考えぶ際に、職業体験での出来事を生かして自分に合った進路を選んでいきたいです。